

# 政策調整会議の概要

開催日 平成 21 年 5 月 7 日（木）

## 項 目

- 1 平成 21 年度公共事業の前倒し発注について【総務部】
- 2 各部局等の主要な取り組みについて【各部局等】

## 内 容

- 1 平成 21 年度公共事業の前倒し発注について【総務部】

総務部より、国の追加経済対策への対応と公共事業の前倒し発注について概要を説明した後、意見交換を行った。

### 【概要説明】

- ・（高知県には 104 億円の交付が予定されている）地域活性化・経済危機対策臨時交付金については、積極的な活用をしていただくよう、財政課を通じて各部局に募集を行っているところである。
- ・また、今回の国の補正予算にも相当なメニューが盛り込まれている。
- ・補正予算見積書の財政課提出期限は 22 日となっているが、補正予算として対応できないものについてはその理由を報告してもらいたい。
- ・4 月の予算執行方針では、公共事業について、平成 21 年度当初予算は可能な限り前倒しし、平成 20 年度繰越事業は原則 100% 発注するという目標設定することを示し、各部局には目標数値の照会をしていた。
- ・この度、回答を積み上げ、上半期発注ができない特殊要因があるものを除き、上半期の目標発注率を 91.0% とした。
- ・平成 20 年度の全体の発注額は 600 億円程度で、上半期は 380 億円程度であったが、今回の計画では、上半期で 560 億円超であるため、上半期の発注額は対前年度で 180 億円程度の増加となる。
- ・倒産件数等に関しては、昨年度、四国の他県は増加であったが、唯一高知県は件数・金額とも微減という結果であった。建設業なども厳しい状況ではあるが、昨年度の 1 次補正分の発注で、それまで減っていた発注額が平成 20 年度は若干の増加となり、持ちこたえている状態である。今年度の前倒し発注でより一層伸ばして、景気を維持できるようにしたいので、対応をよろしく願いたい。

### 【主な意見】

（副知事）

- ・国会で過去最大規模の追加の経済対策、補正予算の審議がなされているように、日本経済が落ち込んだままの状況に危機感を持って、次から次に政府の対応が取られている。高知県としても、公共事業の前倒し発注について過去最大規模の発注目標を掲げて取り組んでいくのだが、これを達成するためには、土木事務所や各公共事業主管部局の職員の努力が必要である。
- ・総力を挙げて、委託できるものは委託し、発注目標を達成していき、それによって県経済の活性化、雇用の拡大、基盤整備の推進を目指していく。
- ・国の追加交付金や公共事業の追加等についても、この際、積極的に活用し、遅れている基盤整備を推進していくために、あるいはこれまでやりたくてもできなかったことを将来の財政を見通して前取りでやっていくため

に、いろいろな知恵を働かせて、高知県の将来に役立つことを柔軟に考えるようにしてほしい。

## 2 各部局等の主要な取り組みについて【各部局等】

平成21年5月の各部局の主要な取り組みについて、各部局から説明を行った。

## 3 その他

### 【主な意見】

- ・新型インフルエンザの感染者数は現在増え続けている。アメリカで初めての死者も出たので、感染力が気になるが、現在、毒性は鳥インフルエンザで想定されたものよりは低いという状況で推移している。国内発生が一つのポイントになってくるかと思うが、引き続き万全の体制を取っていきたい。(危機管理部)
- ・ゴールデンウィーク期間中は、天気も良く、高速道路料金1000円の効果もあり、県内主要28施設における入れ込み客数は、前年度比平均約15%増となった。ただ、ばらつきがあり、アンパンマンミュージアム、桂浜、高知城などは随分多かったが、牧野植物園やモネの庭などは前年度比減となった。(観光振興部)
- ・ゴールデンウィーク期間中の観光客の受け入れについては、課題も出てきた。土佐・龍馬であい博本番に向けた練習ととらえ、生かしていきたい。(観光振興部)
- ・高校生の県内就職について、県内の高校生が県内で就職をしなければ、これからの本県における経済活動がどうなるか非常に心配であるということで、昨年度は、できる限り早い時期に県内企業が県内高校生に説明会や働きかけを行い、教育委員会や学校側も情報収集に努め、早期に就職活動を行えるようにするという方針を出したが、時期が若干早くなっただけで、あまり変わった対応ができなかったということがあった。今年度は同様にならないように、昨年度の総括を踏まえ今年度はどう取り組むのかきちんと考えないといけない。県内企業に対する働きかけと、高校生に対する郷土愛や県内企業の宣伝をきちんと行う必要があることを知事も強く言っているので、商工労働部、教育委員会はタイアップして、昨年度の総括と今年度の取り組みを早期に展開していかなければならない。(副知事)
- ・昨年度末から引き続きとなるが、今年度に入ってから職員による不祥事が多発している。各所属においては、服務規律、公務員倫理の徹底ということを、繰り返し巻き返し徹底してもらうということが必要である。職場内での継続した取り組みが重要であるので、持ち帰って課長会などでも話してほしい。(副知事)